



外国人労働者の職場適応に関する課題

ードイツ、エストニア、リトアニアのケース・スタディから学ぶー

ヨーロッパで進む“インダストリー4.0”時代における労働市場と労働現場のデジタル化について、ドイツ、エストニア、そしてリトアニアのケース・スタディをもとに現状と課題を分析する。特に、労働統計からみた将来の労働市場の検討、新たな労働モデルの提案、仕事とスキル（人材）のマッチング方法、多国籍企業の人的資源管理、バーチャル・ワークスペース（仮想作業場の構築による遠隔作業チーム形成）について詳しく検討を行う。



講師紹介

カウナス工科大学卒業・同大学院修了（博士 経営学）

2002年 カウナス工科大学経営学部講師着任（現在、准教授）

2006年～2013年 カウナス工科大学国際交流センター副所長

2014年～現在 カウナス工科大学副研究部門長

専門は、多国籍企業経営管理、国際人的資源管理、競争戦略論など。

日時： **2018年7月19日（木） 13:10～14:40**

会場： **和歌山大学経済学部・第二会議室（西3号館5階）**

講師： **カウナス工科大学 准教授 Dr. Kęstutis Duoba**